

やましろ授業スタンダード 活用シリーズVol.2 展開編
どの子にも学びを深めさせる「展開」チェックリスト

一人で挑戦させる時間を十分確保しましたか。	☐
一人で挑戦させるための支援を工夫しましたか。	☐
明確な目的を持ってペアやグループでの活動を設定しましたか。	☐
目的や視点を明確にして、追究や交流をし、考えを深めさせましたか。	☐
子どもの考えをつなげ、まとめに向かう見通しを持たせましたか。	☐

「一人で挑戦」から「追究・交流」への具体例【小学校 国語】

「めあて」の確認

それでは、今日は、「書かれていることを根拠にして、主人公が伝えたかったことを考えてまとめよう。」を「めあて」にしていきましょう。それが、今日のゴールです。いいですね。

はい

一人で挑戦

〇分間ほしいです。

自分の考えをノートに書きましょう。「〇〇を伝えたかったと思う。根拠は、『 … 』というところからです。」という書き方にしましょう。時間は、何分間必要ですか。

では、一人で考える時間を〇分間とします。一つ考えられた人は、もう一つ考えましょう。

「めあて」に向き合わせる

追究・交流

あたたかい
学習集団
お互いを
認め合える集団

話し合いに入ります。話し合いの目的は、みんなと自分の考えを比べることで、自分の考えを広げたり深めたりすることです。

目的を明確にした指示

私は、〇〇を伝えたかったんだと思います。根拠は、『 … 』というところから考えました。

根拠は違って『 … 』ですが、私も〇〇を伝えたかったんだと思います。

考えを比較・検討

私は、～さんと違って、『 … 』の部分から、〇〇を伝えたかったんだと思います。

考えをつなげていますね。～さんは、どうですか。

私は、最初は、〇〇を伝えたかったと思っていましたが、みんなの考えを聴いて、〇〇を伝えたかったんだと分かりました。根拠は、『 … 』というところから考えてみました。

練り合い・発見

すごい！新しい考えが出てきたんだね！

話し合いを通して、〇〇も伝えたかったんだと気付きました。根拠は、ずっと前に戻りますが、『 … 』のところからです。

～学びを深める話し合い～

主人公の伝えたかったことを出し合えましたね。みんなの考えを聴いて、自分の考えが深まりましたか。今日の学習のまとめをしましょう。

「やましろ授業スタンダード」は、「主体的・対話的で深い学び」を構築するためのエッセンスをまとめたものです。子どもの実態や教科・学習課題の特性によって、順序を入れ替えたり、ある部分を焦点化・重点化することも必要です。また、単元を構想する際にも、活用できます。

授業改善 次の一手！ 主体的・対話的で深い学びの充実！

やましろ授業スタンダード

～やましろ未来っ子が輝くために～

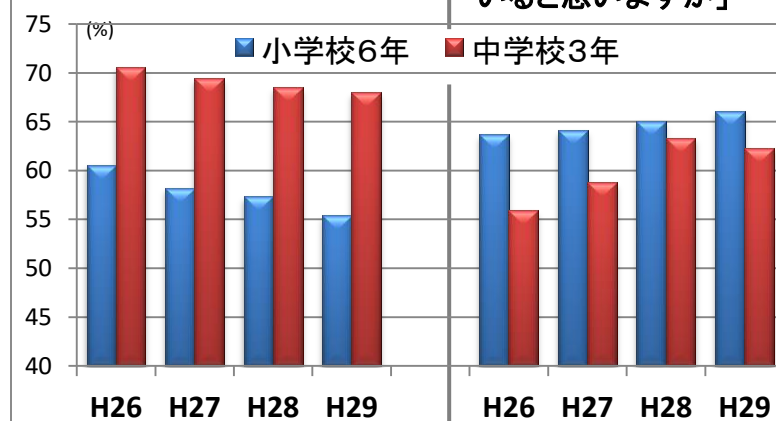
活用シリーズ Vol.2 展開編

- 3 「一人で挑戦させる！」って？
- 4 「仲間と追究させる！」って？
- 5 「交流でさらに深めさせる！」って？

山城教育局児童・生徒の様子 全国学力・学習状況調査質問紙調査より

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」

「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」



「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合の合計

山城教育局全体では、学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う子どもが減少し、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもは増加傾向にあります。

授業の展開において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進んでいます。

どの子にも学びを深めさせるためには、授業の中心である**展開**が鍵となります。

目の前にいる「やましろ未来っ子」が、自ら学び自らを高め、自然・人・社会とつながり、失敗を恐れず挑戦し続けるために、「主体的・対話的で深い学び」をより一層充実させる必要があります。

授業改善へのエッセンスをまとめた「やましろ授業スタンダード」を活用シリーズとしてリーフレットにまとめました。（「活用シリーズVol.3まとめ編」も発行予定）

「活用シリーズVol.2 展開編」を、「やましろ授業スタンダード」「活用シリーズVol.1導入編」とともに手元に置き、授業づくりに活用していただけることを願っております。

京都府山城教育局・山城地方学力向上対策会議

どの子にも学びを深めさせる展開とは？

展

開

③ 一人で挑戦させる！

学んできたことをフル活用

考える時間を十分とり、状況に合わせて適切な支援をしましょう。

Q 「一人で挑戦させる！」って？

A 「一人で挑戦させる」とは、子どもを「めあて」に向き合わせることです。その中で、一人一人に「めあて」に対する自分なりの考えをもたせることが大切です。

なぜ、「学んだことをフル活用」？

今まで学習してきたことや、自分自身が経験してきたことなどを使って、自分なりの考えを明らかにするためです。

- 文章や絵、図など様々な表現方法の活用
自分の考えを工夫して表現し、言葉で説明できるように準備させましょう。
- 学習プリントやヒントカードの活用
どの子も一人で挑戦できるように実態に応じて、考える手がかりや手順、方法を示して、支援しましょう。
- 一つの方法に限定しない柔軟な思考
理由や根拠に基づく様々な考えを持たせましょう。

④ 仲間と追究させる！

考えを比較・検討

ペアやグループで明確な目的をもった話し合い活動を設定しましょう。

Q 「仲間と追究させる！」って？

A 「仲間と追究させる」とは、考えを出し合わせ、自分の考えを広げ、深めさせたりすることです。
自分なりの考えを表現したり、仲間の考えを聴いたりすることで、「めあて」に対する自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。

なぜ、「考えを比較・検討」？

自分との共通点や相違点をみつけたり、新しい考えに触れたりすることで、自分の考えを整理し、まとめることができます。

- 意図的なペア・グループの編成
ねらいや子どもの実態に応じて、メンバー構成や人数、座席配置の工夫をしましょう。
- 話し合いのルールを設定（話型・傾聴、違いを聴く等）
学校全体で共有したルールで系統的に取り組みましょう。
- 目的や視点を明確にした指示（話し合い、実験、観察、実技等）
「めあて」に向かって焦点化できるように、具体的でわかりやすい指示をしましょう。
- 教具の活用（ホワイトボード・ICT等）
話し合った内容をまとめたり、整理したりするために、効果的に活用しましょう。
- 共通点や相違点を明確にした話し合い
「みんなの意見を聞いて考えてみましたが、～」
「〇〇さんの意見を聞いて、新しい考え（疑問）ができました。」
考えをつないで、話し合わせましょう。
- 焦点化の視点（よりわかりやすい、より簡単、だれにでもできる、よりよい等）
まとめに向かって、焦点化する視点を持ち、子どもの考えを整理しましょう。

⑤ 交流でさらに深めさせる！

練り合い・発見

ペアやグループの意見を焦点化し、全体で考えを深めさせましょう。

Q 「交流でさらに深めさせる！」って？

A 「交流でさらに深めさせる」とは、仲間と追究したことを全体で共有し考えを深化させ、「めあて」の達成に向かわせることです。
十分深めさせることで、まとめと振り返りにつながります。

なぜ、「練り合い・発見」？

子ども同士で、考えをつなげたり、異なる考えを出したり、新たな考えを生み出したりすることで、深い学びにつながります。また、みんなで学んだよさが確かめられ、学級集団の質も高まります。

- 思考ツールの活用
考えを整理し、見えるようにするために活用できます。目的を明確にして使いましょう。



ピラミッドチャートを使った話し合い活動



意図的なグループ編成で仲間と追究させる



温かい雰囲気の中、交流でさらに深めさせる

展開では、子どもが「めあて」に深く迫れるように教材研究をして、授業構成を練っておきましょう。その際に、子どもの実態から出てくるであろう様々な考えを想定し、それに対応できる支援を考えておきましょう。具体的には、まとめに向けて子どもが達成感や成就感を味わえるように、支援する場面を見極めたり、子どもをゆさぶる（もう一度考えさせる・考えを深めさせる等）発問を準備したりするなど、主体的に「めあて」に迫らせましょう。（展開の目安は25～30分です。）